

章	ページ	不具合の内容	訂正内容
1	2	コンファレンス（2ヶ所）	カンファレンス
2	4	「方法、手順、実行、方法に関する...」	「工程、手順、慣例、方法に関する...」
4	5	17章「設置、ボンディング、および電機保護」（2ヶ所）	17章「ボンディング、グラウンディング、及び電力保護」
4	27	180mm厚が必要である。	175mm 厚が必要である。
4	33	600mm幅（下の方の図）	450mm幅
4	35	センタ上1.2m～1.3m	センタ上1.2m または1.5m
4	38	各カバー・プレートはの要件を以下に示す。	各カバー・プレートの要件を以下に示す。
4	40	（図4-8参照）	（図4.18参照）
4	48	適合しない適切コンジット	不適合なコンジット
4	51	2個目までのアウトレット・ボックスに延長してもよいが、3個目以上には延長してはならない。	3個目までのアウトレット・ボックスに延長してもよいが、4個目以上には延長してはならない。
4	52	（表4.11） 50mm以上（<）	50mmを超える（<）
4	52	（表4.12） 90度曲げが2つ以上必要なとき	90度曲げが3つ以上必要なとき
4	52	（表4.12） 2個目以上の曲げのところに	2個目以内の曲げのところに
4	74	支持用溝形材（Tバー）の上に最小75mmはの空隙（くうげき）	支持用溝形材（Tバー）の上に最小75mmの空隙（くうげき）
4	91	375mm以下である。	375mm以上である。《注》この修正が既に適用されているマニュアルがあります。
4	93	設計する必要がある	設計する必要がある
4	95	シングル・テナントがが用いるとき	シングル・テナントが用いるとき
4	96	TPが1つ以上あってはならない。	TPが2つ以上あってはならない。
4	99	2ファイバ62.5/125または50/125 μm 光ファイバ・ケーブル	2心ファイバ62.5/125または50/125 μm 光ファイバ・ケーブル
4	104	配線アダプタはFC(FD)と	配線アダプタはHC(FD)と
4	117	2または4ファイバ・ケーブル（2ヶ所）	2心または4心ファイバ・ケーブル
5	4	2段階以下のクロスコネクタがあってもよい。	2段階までのクロスコネクタがあってもよい。
5	19	62.2/125または50/125 μmの光ファイバ	62.5/125または50/125 μmの光ファイバ
5	26	断面積 = .79D	断面積 = .79D ²
5	31	NEC（米国電気規約）	NESC（米国電気安全規約） 《注》この修正が既に適用されているマニュアルがあります。
5	36	地価	地下 《注》この修正が既に適用されているマニュアルがあります。
5	36	小芯ケーブルの曲げ半径	少芯ケーブルの曲げ半径
5	36	小芯ケーブルの取り扱い	少芯ケーブルの取り扱い
5	49	パッチパネルとエレクトロニクス間のパッチコードの長さ	パッチパネルと機器間のパッチコードの長さ
5	50	ジャンパン	ジャンパ
5	51	テストと分界点の簡便な場所を提供する	テストポイントおよび分界点の簡便な場所を提供する
5	64	内径50mm以上のコンジットは	内径50mmを超えるコンジットは
5	65	燃料サービス・ステーション（2ヶ所）	ガソリンスタンド
5	66	メンテナンス・ホール（5ヶ所）	マンホール
5	67	長さが6m以上のものは、ふたを3個使用す	長さ6mを超えるものは、ふたを3個使用す
5	67	最低直径200mmの集水溝	最低直径200mmの排水溜
5	67	最低24000kPaとする。	最低24000kPa(3500psi)とする。
5	69	第17章：接地、ボンディング、および電氣的保護を参照。	第17章：「ボンディング、グラウンディング、及び電力保護」を参照。
5	75	設設計	埋設設計
5	76	NEC（米国電気規約）（ANSI 2）は、	NESC（米国電気安全規約）（ANSI C2）は、
5	76	付属物および電柱の地上部分への横からの風圧	付属物および電柱の地上部分への横からの風圧荷重
5	78	引き止め（7ヶ所）	引き留め
5	79	電柱が懸架支持線を1本以上サポートするときは、	電柱が懸架支持線を2本以上サポートするときは、
5	105	メタリル・ケーブル	メタリック・ケーブル

5	108	直接埋設には、PIC (プラスチック絶縁導体) ケーブル	直接埋設には、充填PIC (プラスチック絶縁導体) ケーブル
5	120	前以てコネクタを取り付けたケーブル	工場でコネクタを取り付けたケーブル
5	120	コネクタを付けた側を施工するときは、これらのコネクタを保護すること。	工場でコネクタを取り付けたケーブルを布設するときは、これらのコネクタを保護すること。
5	136	端末器機に	端末機器に
5	137	空気またはガスで	空気またはガスで
5	137	松葉	終端部
6	1	最低1個のアウトレット	最低1個所のアウトレット
6	1	最低2個のアウトレット	最低2個所のアウトレット
6	1	モニメントおよびそれから伸びるコードは、つまづく危険性を表示可能である。	モニメントおよびそれから伸びるコードは、つまづく危険性がある。
6	3	970mm ² (1.5in ²)	970mm ² (1.5in ²)
6	4	12個のワークエリア (WA) にサービスできるので、	最大で12個サポートするワークエリア (WA) にサービスできるので、
6	4	(表6.1) H: 80m(262ft) のとき C: 16m(59ft)	H: 80m(262ft) のとき C: 18m(59ft)
6	12	150mm(6インチ) 以下の離隔距離	150mm(6インチ) 未満の離隔距離
7	4	通信室 (TR) 仮天井は許されない。	通信室 (TR) にシステム天井は許されない。
7	6	排水溝の水漏れから機器を保護すること。	水漏れから機器を保護するための排水溝を設けること。
7	7	デイマー・スイッチを使用してはいけない。	調光器を使用してはならない
7	7	TRの位置は、そこから供給するエリアの中央であることが望ましい。	TRの位置は、サービスを供給するエリアの同一階であり、出来る限りその中央であることが望ましい。
7	8	照明器機に	照明機器に
7	9	器機ラック	機器ラック
7	9	長さ2.4m厚さ19mmのAC-グレード	高さ2.4m厚さ19mmのAC-グレード
7	9	器機 (2ヶ所)	機器
7	10	アクティブ器機	アクティブ機器
7	10	器機ケーブル (3ヶ所)	機器ケーブル
7	10	器機室	機器室
7	13	アクティブ器機 (3ヶ所)	アクティブ機器
7	13	器機	機器
7	14	器機 (4ヶ所)	機器
7	14	器機ラック (2ヶ所)	機器ラック
7	14	最低1mのなにもない作業空間をとる。	最低1mの何もない作業空間をとる。
8	10	WAの数が200以下である場合であっても、ERのサイズは14平方メートル以下であってはならない。	WAの数が200未満である場合であっても、ERのサイズは14平方メートル未満であってはならない。
8	19	次の機器はER内部に置くこと、	次の機器はER内部に置いてもよい。
8	19	制御盤はER内に設ける。	制御盤はER内に設けなければならない。
8	20	808kPa	8.8 kN
8	22	水およびガスをベースとしたシステムを含め、実質的な問題がある。	水およびガスをベースとしたシステムを含め、実質的な解決策がある。
9	1	引込みが依存するタイプと位置	引込みが依存するタイプと位置は
9	1	ビルの建築様式	ビルの建築構造
9	1	美学	美観
9	2	初期サービスと最終サービスの両方を目指す。	初期サービスと最終サービスの両方を考慮する。
9	5	物理的保護を保証するために103mm() コンジットの	物理的保護を保証するために103mm(4トレード・サイズ) コンジットの
9	7	90度曲げが2つ以上あってはならない。	90度曲げが3つ以上あってはならない。
9	8	注: 100mmの貫通は、ビル内コンジットに指定された25-75mmの貫通とは対照的に、引込口設備の仕様である。	注: 引き込み設備の貫通口は、ビル内コンジット用貫通口が25-75mmと規定されているのに対し、100mmの仕様となっている。
9	10	SPの接続が100ケーブル・ペア以下	SPの接続が100ケーブル・ペア以下のビルの場合
9	19	ストリップ・モール	ショッピングセンター

11	24	十分な穴をあける。	ちょうどよい大きさの穴をあける。
12	3	ブースは、	ブース(公衆電話ボックス)は、
12	7	TTY	TTY(テレタイプライタ)
12	14	その配列のスタイルは様々であるが、ATMは	そのスタイルは様々であるが、ATMは
12	15	携帯電話を天候に直接、	持ち運びできる卓上電話を天候に直接、
12	15	プールからジャックまでの最低距離7.6m、 が増やせないときは、全ての携帯電話に 1.8mの標準コードのみを使用すること。	プールからジャックまでの最短距離が7.8m より長くないときは、全ての持ち運び できる卓上電話に1.8mの標準コードのみを 使用すること。
12	17	普通より長いケーブルを用意する。	通常より品質と性能が優れたケーブルを用 意する。
12	36	特定のマリーナ	特定ドック 《注》この修正が既に適用さ れているマニュアルがあります。
12	38	これは、次のことを要求する	これは、次のことを要求する場合がある
13	5	独特な識別を	独特な表示を
13	7	単純な番号付け計画は単純な番号の連続せ あるだ。	単純なシステムの番号付け方法は、単純な 連続番号でよい。
13	7	より複雑なラベル付けは種類・機能・終端位 置を表わすかもしれない。	より複雑なラベル付けは種類・機能・終端位 置を表わす。
13	9	記録保持システムは範囲が変化する。簡単 なシステムでは各ユーザーと関連した電話 番号を含みます。しかし、小規模システム にもかかわらず、そのようなリストは不完 全なものである。なぜならば局配線終端の 場所をが与えられていないからである。 それがこの章におけるラベリング部門にて 議論することで、関連参考事項または接続 されたすべての部品を記録保持するシステ ムは重要である	記録保持システムは多種類ある。簡単なシ ステムでは各ユーザーの電話番号リストし かない。しかし、小規模システムにおい ても、このようなリストは不完全なものとな る。なぜならば局配線終端の場所が明確で ないからである。 記録保持システム は本章のラベリングの項で記述されている 全てのコンポーネントと関連付けされるこ とが重要である
13	20	表13.8 責任分解点(例:本部事務所終	責任分界点(例:電話局の終端)
17	16	過度電流 (3ヶ所あり)	過渡電流
17	17	(NEC250-20参照)	(NEC250-52参照)
17	19	ボンディングする個所に直接に行なうのが 望ましい。	ボンディングする個所に直接に行なうべき である。
17	20	将来の変更に対応できるので、これを用い ることが望ましい。	将来の変更に対応できるので、これを用い るべきである。
17	20	導体の使用を検討することが望ましい。	導体の使用を検討すべきである。
17	23	バスバー(11ヶ所)	バスバー 《注》この修正が既に適用され ているマニュアルがあります。
17	23	バスバーは、以下が好ましい。	バスバーは、以下の通りにすべきである。
17	28	CENELEC EN50173	CENELEC EN50174
17	30	火災保護器	火災警報保護器
17	32	フューズ (13ヶ所あり)	ヒューズ
17	33	フューズ (4ヶ所あり)	ヒューズ
17	35	非腐食性ガス	非腐食性環境
17	37	承認グラウンドの近傍にグラウンドしなけれ ばならない。	承認グラウンド近傍にグラウンドする。
17	37	隔離ギャップとに似た絶縁ギャップは、	隔離ギャップに似た絶縁ギャップは、

17	40	通信回路保護	通信回路保護器
17	40	サージ保護機器	ACサージ抑制器
17	40	二次通信回線保護	二次通信回線保護器
18	1	可視光の波長より、数百万倍短い。	可視光の波長より、数百万倍短い。
18	3	クロス・カップリング	クロス・カップリング
18	15	径路（2ヶ所あり）	経路
18	17	表18.5 距離（メートル）	距離（m）
18	17	受信機の上に1つ以上の壁があり、	受信機の上に2つ以上の壁があり、
18	23	IEC6000-4-2	IEC61000-4-2
18	30	レイスウェイ	レースウェイ
18	31	不平衡電子フィールド	不平衡電磁フィールド
19	18	不可は20dB以下を意味する。	不可は20dB未満を意味する。
19	24	私設ライン回線	専用ライン回線
19	45	非同期伝送(async)は、信号キャラクタ又はそれらを表すビットによる規則正しい時間関係を用いないで行なう。	非同期伝送(async)は、信号キャラクタ又はそれらを表すビット列に含まれた規則正しい時間関係（同期）を用いないで行なう。
19	50	DSLサービスを受けるユーザの	DSLサービスを受けるユーザの
19	59	基本リンクとチャネルの反射減衰量時間差	基本リンクとチャネルの伝播遅延時間差
19	77	10Base-Tのシステムは12以下とする。	10Base-Tのシステムは12までとする。
19	77	同じ側線グループを共有しない	同じ束線グループを共有しない
19	96	500m、伝送速度が10Gbps以下	500m、伝送速度が1Gbps以下
19	112	（表19.45） DBロス（コネクタ・ペア当たり）	dBロス（コネクタ・ペア当たり）
20	20	中央集中管理による、	中央集中管理の欠如により、
20	20	幹線ケーブル全体に問題があったり、	幹線ケーブル全体のどこかに問題があったり、
20	23	スター配線型はコラプストリングとも	スター配線型リングトポロジはコラプストリングとも
20	48	非占有的に	非専用のに
20	48	非占有型のサーバは	非専用型のサーバは
20	69	IEEE802.9に準じるLAN上での音声とデータの統合に	IEEE802.9に準じるLAN上での音声、データ、映像の統合
20	70	（IEEE 802.15）10mの範囲内で最低でも1Mb/sのデータ転送	10mの範囲内で最低でも1Mb/s以下のデータ転送
21	2	ANSI/TIA/EIA-568-Bの意図にも	ANSI/TIA/EIA-568-A（参照：第4章）の意図にも
21	37	（表21.4） BASX	BAS
21	37	（表21.4） 平方メートル（2ヶ所）	毎平方メートル
21	38	（表21.4） BASX	BAS
21	38	（表21.4） 平方メートル（2ヶ所）	毎平方メートル
22	2	”イコライザ” イコライザは、接続するケーブルとは逆の周波数応答をもっているエレクトロニクス デバイスである。	”イコライザ” イコライザは、接続するケーブルとは逆の周波数応答をもっているエレクトロニクス デバイスである。イコライザは同軸ケーブルの非線形周波数応答を補正する。
23	2	距離が1/2に減少すると、SPLは6dB減少す	距離が1/2に減少すると、SPLは6dB増加す